彦根記者クラブ各位

写真集「彦根城の桜」出版

風景写真家・中村憲一ｓ22年3月5日生

彦根市野田山町在住　電話090 1956 8733

私、中村憲一（のりかず）は、「彦根城の桜」と題する写真集を自費出版しました。これは、2010年から2016年までの7シーズンにフィルム用中判カメラで撮影した彦根城の桜の風景写真の中から63枚を選んで構成したものです。全国のお城の中でも優れているこの桜の景観を、より多くの人に知ってもらい、文化・観光都市彦根市の活性化につながればと願って出版しました。Ａ４変形、80頁で税別1700円。彦根市竹ヶ鼻町の書店、天晨堂ビバシティブックセンターとＪＲ彦根駅前のアル・プラザ彦根の平和書店で取り扱っています。

彦根城は、城山の周りが二重の堀（中堀と内堀）に囲まれ、石垣がきれいに残っています。桜は大半がソメイヨシノで約1200本が堀の石垣沿いに植えられており、4月上旬には周囲が4㌔あるお城の区域全体がピンクに染まります。

私は高校まで彦根に住んでおりましたが、進学・就職で45年間、彦根を離れていました。仕事を終え、2010年、63歳の時に生まれ故郷の彦根に戻ってきたとき、この美しい桜の風景を写真で残そうと思いたちました。城内をくまなく歩くうち、あまり観光客が行かない場所で、堀や石垣、櫓（やぐら）、門を入れて写せる風景はたくさんあることが分かりました。特に表門ゲートから最も遠い山崎曲輪方面は、桜も豪華です。写真集は入城ルート別にこうした桜を紹介、案内地図には撮影場所を記しています。

ところで、彦根城の桜はほとんどが老木です。古いものは80年を過ぎています。特別史跡内では、桜が枯れたからといって代わりを植えられません。それは石垣などの文化財を守るためです。市役所、樹木医、地元の人たちが今ある桜をいかに長生きさせるか、肥料を与えるなど努力をされているところです。いつまでもこの景色がみられるよう願いたいものです。

売上金の一部は昨年の熊本地震で大きな被害を受けた熊本城の修復費用に充てます。

２５日から出版記念写真展

この出版を記念し、3月25日（土）から「彦根城の桜」写真展（主催・ＮＰＯ芹川）を彦根市本町の夢京橋キャスルロード、洋菓子三中井の蔵ギャラリーで開きます。4月12日（水）まで毎日午前10時から午後4時まで開館します。写真集の写真20点を全紙または全倍にプリントしています。入場無料です。

写真集はこの写真展会場でも販売します。

2017年３月３日